



## 最近の報道発表（令和元年7月24日～令和元年8月23日）

### <救急企画室>

元.8.23	2019年7月の熱中症による救急搬送状況	熱中症による救急搬送人員について、2019年7月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。
--------	----------------------	---

### <予防課>

元.8.21	「小規模飲食店に設ける厨房用自動消火装置等のあり方に関する検討部会」の開催	小規模飲食店に設置されたこんろからの火災を防止するため、厨房用の自動消火装置に求められる性能や厨房設備の防火安全対策のあり方について検討するため「小規模飲食店に設ける厨房用自動消火装置等のあり方に関する検討部会」を開催することとしましたのでお知らせします。
元.8.9	住宅用火災警報器の設置率等の調査結果（令和元年6月1日時点）	消防法により設置が義務付けられている住宅用火災警報器の設置率等について、令和元年6月1日時点での調査結果をまとめました。
元.8.9	平成30年1月～12月の製品火災に関する調査結果	消防庁では、火災を起こす危険な製品の流通を防止し、消費者の安心・安全を確保することを目的として、平成30年1月～12月に自動車等、電気用品及び燃焼機器の不具合により発生したと消防機関により判断された火災について、発生件数や製品情報等を取りまとめました。
元.7.29	「令和元年度 救急業務のあり方に関する検討会」の発足及び開催	今年度は、救急業務の円滑な実施や救急車の適正利用を推進するため、「外国人傷病者対応」、「メディカルコントロール体制のあり方」、「救急安心センター事業（#7119）の事業検証体制」及び「緊急度判定の実施・検証」について検討します。さらに、「救急業務のフォローアップ」及び「傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施」について報告を行うこととしています。
元.7.24	「特殊消火設備の設置基準等に係る検討部会」の開催	近年、特殊消火設備と同等以上の消火性能を有する消火設備が開発されていること及び泡消火薬剤に含まれているフッ素化合物に係る環境規制の動向を踏まえ、特殊消火設備に係る新たな設置基準等を検討するため、「特殊消火設備の設置基準等に係る検討部会」を開催することとしましたのでお知らせします。

### <特殊災害室>

元.8.1	「先進技術を活用した石油コンビナート災害対応に関する検討会」の開催	石油コンビナート等における総合的な防災体制の充実強化を目的に、「先進技術を活用した石油コンビナート災害対応に関する検討会」を開催することとしましたのでお知らせします。
-------	-----------------------------------	---

